

今井町診療所

2020年12月 No.157

友の会だより

(友の会事務所)

千葉市中央区白旗
3-19-3

Tel.043-265-8687

今井町診療所
TEL.043-261-4537
HPIはこちら→<https://www.imaicho-clinic.or.jp>

診療所からのお知らせ

コロナウイルスとの闘いが長期化する中で、少しでも安心して医療が受けられるよう、マスクの着用。手指消毒の実施。診療所に入る前の検温をお願いしてきました。

今回新たに、待合室の椅子にいくつかのパーティションを設置しました。お隣同士の方の間の間仕切りです。

椅子、血圧計、パーティション、トイレ、手すりは時間で定期的に消毒を行っています。エアータオルも廃止し、ペーパータオルに切り替えました。

また、乾燥対策として加湿器を待合室、診察室、処置室にそれぞれ設置しました。頻繁に手指消毒が出来る様、アルコールの数も増やし設置しました。

窓の換気を常時行っている関係で、これからの季節、暖房を強化しておりますが、寒く感じる方がいらっしゃると思います。感染予防の為、ご協力をお願いしております。



今後、待合室の密対策、待ち時間対策をして、インターネットでの予約、番号受付システムの導入を開始する予定です。それに伴い、朝の番号制の廃止についても検討しております。家に居ながら、診察の番号を取ることが出来ます。随時、お知らせ致しますので、是非ご活用下さい。

2021年「新春の集い」開催について

新型コロナの感染状況が12月になっても収まる状況になく、むしろ悪化の状況を見せていて、この傾向はこれからも続くと思われるされています。

この状況下で「集い」を例年と同じように開催することは難しいことから、食事などの提供はせず、3密を避けながらの簡素な集まりにしたいと思っています。

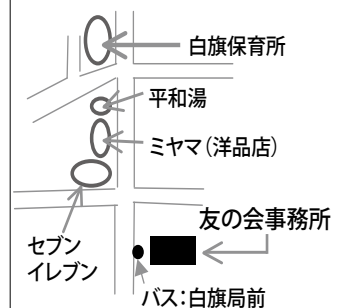
期日：2月20日(土) 午後2時～

場所：白旗会館



友の会事務所

☎043-265-8687



核兵器禁止へ大きな一歩

Ⅱ 禁止条約が発効へⅡ

森 孝夫

10月25日世界の悲願であった核兵器の非人道性を告発し、その開発から使用の全面的禁止を求める国連の核兵器禁止条約が50か国・地域の批准で、21年1月に発効することになった。人類史上初めて核兵器を違法化する。広島・長崎に原爆が投下されてから75年、歴史的な日となった。この条約は2017年7月、国連で122か国が賛成して採択され、被爆者を先頭に各国の核廃絶を求める市民の運動で取り組まれ各国政府を動かしてきた。私たちも微力ながら「ヒバクシャ国際署名」等を推進してきた。

一方で、核兵器保有国や日本などの同盟国はこの条約を敵視している、特に唯一の戦争被爆国の日本政府が「条約不参加」としているのは本当に恥ずかしいこと。日本などの「核の傘」国は、核抑止力論に立つが、この条約で安全保障は「国」から「人」に転換し、核兵器は悪、役に立たないことが明らかになってきました。

世論を喚起して核保有国、核の傘国に圧力を「再び被爆者をつくらない」と運動してきた日本被団協は、日本政府と国会に対して速やかに条約に署名・批准を求めている。私たちは、新たに政府に対して核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名運動を始めていくことになった。大いに世論を喚起して政府を変えなくてはならない。



私と				
今井町診療所				
(1)				

友の会が二月に一回発行している「友の会だより」の100号(2011年6月)に河村先生が書かれた文書で、「臨床医療で一番大事で基本となることは病気の診断です」、そして診療所が目指す医療についても述べられていきます。それを読んで見て、今までもこれからのことが継続されて行くことを願いながら、私と診療所の67年について書いて見たいと思います。

今井町診療所が1953年11月に開所されて今年で67年を迎える。私が6歳になった時から診療所との付き合いも多分67年を迎える。

私の頭に残っている診療所の最初の印象は、四軒長屋の一番端、玄関を入ると小さな土間があって、履物を脱いであまり広くない、畳の待合室で診察のために呼ばれるまで待っていたこと。

この67年の間、医療に関して困ったことは殆どない。体調が悪くなると診療所に行けば何とか解決したからだ。診療所で手に負えなければ、千葉大や当時の健生病院など適切に紹介してくれたためだ。

それと、私を安心させるのは、昔から年に4日の休診日を除いて、診察時間は異なるが診察をしていること。会社勤めをしている時は、夜間診察にお世話になった。この裏には、今でもそうだけれど、看護師さんや事務職員の方のご苦労があるのだろうと思う。(K)

(友の会たより) 100号を同封します



ふれあい薬局通信

「お薬手帳」を利用していますか？

お薬手帳は、『いつ、どこで、どんな薬をもらったのか』を記録することが出来る手帳です。病院

を受診する時は保険証と一緒に、薬局で薬をもらう時は処方箋と一緒に出して頂ければ、その記録が診察に役立ちます。

●飲んでいる薬の名前は覚えていりし、ずっと同じだから要らないのでは？

↓いつ・何日間処方されて継続服用しているのかわかります。また、本人が倒れたような場合に、他の人でも内服薬がわかります。

●殆ど薬を飲まないで、手帳を持つ必要は無いのでは？

↓数年前に飲んだ薬と同じものが欲しい、など、たまにしか飲まなくても記録は大事です。

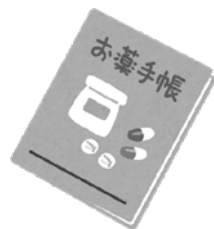
●同じ薬局に3ヶ月以内に来局された時、お薬手帳を提示された場合は3割負担の方で30〜40円安くなります。

以上、お薬手帳には良い点があると思いますが、持ち歩くのを忘れてしまう・荷物になる等、負担もあるかと思えます。

●スマホを利用した「電子お薬手帳」もあります!!

そんな方には、電子お薬手帳をお勧めします。スマホアプリでお薬手帳を記録することが出来ます。ふれあい薬局でも『ほっぺ』という電子お薬手帳を導入しています。薬歴管理はもちろん、いつもと違う病院にかかった時の処方箋の写真を薬局に送信して、前もってお薬を準備できる機能もあります。興味がある方は、声をかけて下さい。

(H)



ヘルパーステーションなのはな通信

利用者さんと生きる

終末期と告げられ数年経過したNさんに、初めて訪問した日のことです。

「それはゴミじゃないからすてないでね。」プラスチックの容器に入った「生ごみ」を捨てようとしている私にNさんが言いました。私にはゴミにしか思えなかった物は、畑の飼料になると教わりました。それから約3年半後、Nさんは体の自由が効かなくなり、庭でしゃがみこんだまま立ち上がれなくなるころとがありました。それでも、「楽しみだから」と野菜の世話を欠かすことはありませんでした。

Nさんは野菜の根を捨てずに育て、種を収穫し、その種を蒔き育てることをライフワークとしていました。私が捨てようとした「生ごみ」は、ただの肥料ではなく、闘病中の生きがいを支える「大切な物」だったのです。

掃除とはゴミやほこりを取り除き綺麗にすることですが、ヘルパーが行う掃除は綺麗にすることだけではなく、その人が大切にしていることを大切にするという思いやりが必要だと思えます。私がゴダと思ってもその人にとっては大事な物かもしれません。今、皆さんが捨てようとしている物は本当にゴミですか？

(酒井 剛気)



まちかど相談室で働きませんか

まちかど相談室（居宅支援事業所）では、ケアマネジャーを募集しています。

- ・資格：介護支援専門員
- ・業務内容：ケアプラン作成
- ・年齢：不問
- ・勤務形態：常勤、非常勤
- ・勤務時間：9：00～17：00
- ・給与：当社規定
詳細はお問合せください。

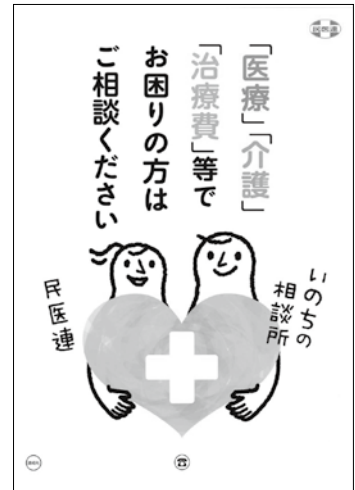
【お問合せ先】

まちかど相談室 坂井はるみ
043-261-4523
今井町診療所 榎本 隆
043-261-4537

まずは「いのちの相談所」に!!

今井町診療所も所属する「全日本民主医療機関連合会（民医連）」では、新型コロナウイルス感染症拡大で、診療を中断している患者や体調が悪いのにもかかわらず、医療機関に罹ることができずいのち、暮らしが脅かされている人々に、まず相談と呼びかけています。

そのために、連絡先を記載した「いのちの相談所 民医連」のポスターを作りました。皆さんの周りにいのち、暮らしが脅かされている人がいたらっしやれば、ぜひ教えてあげてください。



「映画を見る会」のお知らせ

毎月第1火曜、9時半～
場所：葛城公民館

フラサークル『ピカケ』

場所：千葉寺自治会館
(千葉寺境内内)

日時：第1、3水曜日
13時～15時

会費：500円 (1回)

講師：竹久 一美

(元NHKカルチャーセンター講師)



・文芸・

昼寝して一年を倍で過ごしている

高橋 みさ子

家の中死の世界かなほほひねり

高橋 みさ子

長生きをしたが五体不満足

高橋 繁

九十歳お目出度いのは頭だけ

高橋 繁



友の会行事予定

場所の明記がない場合は、「友の会事務局」です。

どのサークルも初心者の方大歓迎です。

☆「食事会」(会費：500円)

第2火曜日 12時～13時

白旗会館(今井町診療所横)

☆「清拭布切り」

毎月第2木曜日 午後2時～

☆「むりよう塾」

第1・3・5土曜日 午後2時～

☆「囲碁」サークル(会費：無料)

毎週月曜日 午後1時～

☆「花を生ける会」サークル

第1木曜日 午後2時～

☆「元氣読書会」サークル(会費：無料)

第3水曜日 午後1時半～

*麻雀は休止中ですが再開する予定です。参加できる方は連絡ください。

◆◆◆診療所編集後記◆◆◆

感染症対策をして、職員同士で話し合いを重ねてきました。待合室、処置室のパーティションはその一つで実は既製品ではなく、試行錯誤しながら作った職員の手作りです。友の会のKさんにも手伝ってもらいました。女性の多いこの診療所で涙なくして語れない苦心の作なんです！^(A)^(A)

(T)